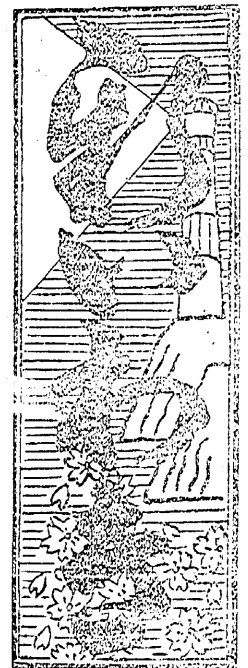


刊夕 日一廿月七



推されるれば起つ

多額候補の金成氏

確立する石城政友の同志が

貴族院多額議員選挙は来る即氏と同様の交誼を有し九月十日の期日まで四十余の爲め此の間の妥協の日となつた石城政友部會で保もあり且つ小松茂藤治氏は金成通氏を推すべく同志は其他を物色してゐる民を擧げての意向の下に既に政黨に於て一名を推される演三郎が結束し目下同黨本は有勢とは云へ政友二名の縣支部との間に交渉中である勝算には格段の努力を要すつて互選資格者總數二十六名の金成氏を推す周圍に於名に過ぎない本郡としては是れ所記に對して充分なる全縣下から大なる援助を必算を立てた上で山崎與三と共して金成氏とも親交 即氏及び鈴木代議士から近ある八田代議士、地盤とさく正式に推薦の交渉をなすれる會津方面に多分の諒解模様であつて金成氏も結局を得やうとしてゐるものゝ立候補することになるであらうと推されるが同氏は中道より左の方部から推される根本祐太

五浦の奇勝を背景に

詩歌の夏季講座

大津五浦三味會の計畫

茨城県多賀郡大津町市原營の如く決定したので二十日市長市原陸郎氏を會長とす各方面に案内状を發したがる五浦三味會では來月三日會費は宿泊、會費、受講料から七日まで五日間大津町とも六園で希望者は七月三の名勝五浦に在る岡倉別荘十一日迄に大津町市原醫院に於て夏季講座を開設する内同會へ申込みのこととなり講師及演題も左

△國文學雜誌、早大教授

津川公治 △天田忠徳研究部で引渡すことに改正七時から卒鐵道會議所に於て、短歌寫生道解説、歌人島田忠夫 △土に根ざり共に相當重要な改正を行は詳細な解説があることせざるを、童話作家千葉省三 △島木嘉彦先生追憶、歌人岩淵得之介 △鮎川に於ける赤彦先生

山口剛 △日本考古學文學士山口隆一 △下村觀山書道追憶、元代談士赤尾藤吉郎 △島木嘉彦先生と鍛錬道、歌人辻村直 △芥川龍之介追憶其他、小説家伊藤貴麿

△長塚節の「土」に就いて 評論家中山省三郎 △山村暮鳥研究、評論家

誰何されて矢庭に

西洋刺刀で斬付く

神社裏に潜む四犯の賊を

今曉三時二十分頃幸町村木(三四)で去月末水戸刑務所町地内大杉荷葉の暗間にを出て郡内に流れ込み各所潜んでゐる男を擧動不審とて窃盜案被疑してゐたこ認め平署荒井喜一郎巡査とを自白したが引續き嚴重に逃走したので一丁程追跡し逮捕せんと捕縛に手をかけた荒井巡査の隙を見て怪神谷村の俵米共同販賣は二漢はかくし持った西洋刺刀十一日午後三時から神谷信下、右足指、右手指等に斬りつけ全治二週間の傷害を負はせたが劍道二段、柔道初段で署内剛の者である同巡査は痛手にひるまず格闘して三十分の後漸く取押へ本署ら荷物運送規則の一部を改訂したこの不敵の怪漢は當時住所無職不定山形市生れ窃盜前科四犯遠藤榮

神谷俵米共販

規則改正

あす関係者打合 鐵道省では來る八月一日か鐵道省では來る八月一日か荷物運送規則の一部を改訂したこの不敵の怪漢は當時住所無職不定山形市生れ窃盜前科四犯遠藤榮

熊の出るはなし

土木監督所員の打明け話

石城郡南郡の石住貝泊路の所員の話一石住、貝泊夫等の失業救済土木工事は荷路夫の山の奥にはいまだ去る十四日頃から着手されも猿が棲んでゐて晝でも一人では心細い村人に聞くと戸敷は多くて四十戸、少い時々熊が出て來るといふ所ではあつちは一軒こつちの氣の弱い所員などは二軒といふ小部落で駐在 込杖や金棒を持参しそれ所からは二三里も離れ勿論を命がけで役目を果してゐる自動車などなく縣道といつるといふ

悪疫發生

平町田町

邊鄙な所でも労働賃銀は拂三齋藤武(二二)は廿日腸チはねばならぬので平土木監督所 新川町一白土ノブ督所では所員が四五日乃至(一一)はチフテリアと決定一週間の賃銀を持つて泊 隔離された

生活苦に喘ぐ一家を

薄給を割いて救ふ

好間村駐在巡査の美談 炭礦不況時代の哀話に絡まぬもの全く米の飯を食はる一駐在巡査のかくれたる生を食つて飢を凌いで美談一好間村大字北好間字のたが六月に入つてからは元山元萩原炭礦坑夫吉田一唯一の糧である生ふ代にも治(三八)假名は本年一月事欠く有様となり遂に生活業不振の飛沫を食つて萩原苦から心にもなき悪心起炭礦を餓首されたが家にはし附近の畑からキャリや半神痛に悩む妻と九才を頭などを盗んで餓死を免れて三人の幼兒を抱えて生計のたが一週間の夜芋の道を絶たれた彼は次第に畑を掘つてゐる所を所有者線、根本又三郎、蛭田好一生活が苦しくなり乏しい時に發見され駐在所へ突き出三君歓迎と元代議士安島重へも我ひ果して三月以來とされて了つたが前記の事情

街のエロ漢

凱旋兵歓迎

三坂村下三坂日雇遠藤藤(二二)は今晚一時頃泥酔して新田町地内を徘徊し通行する藝妓に誰彼の差別なくからかつてゐた所を平署員に發見され大目玉

ウナギは安い

昨日土用入り

去る十九日午後一時小學校内に開催した 昨昨日土用入り 二十二日の平地方の土用入りは最高温度三十一度二分ふー當の吉田は勿論この話之に及らぬ雨も交つてを傳へ聞いた村人も佐藤巡査先づ申し分のない土用の氣分であつた、尙土用丑の日はなくてはならぬ鰻の値段は茨城物、仙臺物は四十五割前後、地物で二十割から二十五割で大體去年から見ると一二割方下つてゐるといふから今年には安かろうといふべからう

兩校選手出發

二十三日郡山市安積中學

庭に舉行される縣下中等學校體育大會に必勝を期して出場する磐前選手は二十二日午前五時四十分、平南選手は同八時五十分半發列所から引取つたが去十六日車で出發する

新刊紹介

詩商車(第二十七輯)

歌一高久曉霞その他、詩一双葉清その他 片寄、白木のコムビネーションは益々文藝春秋の俗悪なる編輯法を模倣して遺憾なし、だが而しての内容のだらしないさ！ 同人諸君よウヌボレはやめてもう二三年しつかり勉強して出直せ！ △平町鐵道町二六詩商社發行 價十五錢

家庭園藝

接木の二ツツ

而して枝接はその方法によつて名稱を異にするが即ち枝を接合するものを枝接と云ひ芽を接合するものを芽接(めつき)と云つてゐる。枝接の時期は二月乃至三月で芽接は夏期に行ふ、枝接の時期に要するに春將に木の芽の伸びんとする時に行ふもので梅や桃は二月、梨、柿、栗の如きは三月に行ふものである。

接穂(つきほ)としては充實した前年生の枝を撰びその枝の中央部に二寸余りに切り取先づ上等の反對側に於て斜に削る、この切口が砧木を接合する部分であるから平によく削ることが大切である、かくして得たる接穂は乾かぬやうに水に浸して置くか或は口にくはへて次に砧木の準備に移るのである。

砧木は掘り上げて接木を終つた後に植付ける場合は揚接(あげつき)と云ひ、接木の容易である梨、桃の如きものに行ふのである、柿、梅、栗の類の如きは接木が困難であるから砧木は前年より植付けて置いて掘り上げてに接木するのである此れを居接と云ふのである其の他接木には種々あるが後日

の場合にのべることに仕やう(完)

ガソリン
モビール油
日本石油株式 會社

特約販賣

油問屋 関内油店

支店 郡山市 驛前通
支店 茨城県 水戸市 支店 關本驛前
支店 電話長八二三
支店 電話長平海七三
油槽所 出張所
平町四丁目 郵便局前

064・61 長話電 平城磐

淋病最新薬

美神 一週分四〇〇
淋薬 二週分八五〇

代理店 山野邊藥局

お醬油は

醬油味 贈
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命 代理店

債權取立と債務整理を
御取扱ひ致します

多額なお金よりも少額なもの
ものを極く簡単に御融通
いたします

平南町・二十三夜尊脇

實商事社 伊東

朝日 煙突

石綿セメント製

絶対にくばい!!
やくばい!!
くさばい!!

経済的で
災災の心配がな

金屋商店

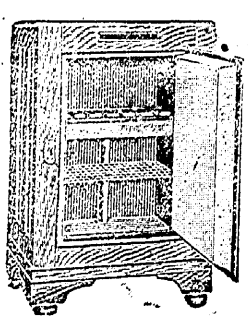
山崎合名會社

山崎與三郎

電話 二七〇番

本式の
冷蔵庫

製造元 丸ほん



暑中御伺

蒲焼 江戸川

平館前通り(電話五四七番)

◆土用丑の日には
特に勉強大賣出し仕候

「鰻専門の當店は調理の總てに
自慢で有ます御試めし下さい」

入院需應

藤沼醫院

電話五〇七番

市原醫院

病淋・毒梅・科兒小・科外内

田町

高久病院

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町田町、電話五一三番

院長 醫學士 高久忠

安價で 効果的な 天然加里肥

最も適應する作物!

蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類

◇ 茄果類ではトマト、茄子の如き比較的弱容
に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果
を防ぎます

天然加里肥は酸性でないから
如何に施用しても土壌を惡變する虞は絶對
にありません

一俵三三錢 (大量取引は特に割引致します)

製造販賣 金成國雅

平町 鎌田

諸毒下シの大妙薬

安流丸

持約 山野邊藥局

洋酒 食料品は

平町新 上總屋へ

ソーダ水用のシラップ

特賣(三升瓶詰) 一圓十錢